

くまむら

議会だより

2012.10.25

69号



分会の名誉にかけて選手宣誓（第57回 村民体育祭）

球磨村世帯数 1,611世帯
人口 4,322人・男 2,035人・女 2,287人
(H24年9月30日現在)

発行……球磨村議会

編集……球磨村議会広報特別委員会

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel (0966) 32-1111

目次

9月定例議会…………… 2～3

一般質問 …………… 4～9

沢見の火の元神社 …………… 10

9月定例会 災害復旧費などに 5億7,680万円を追加



初日は、6月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査の報告を行い、会議録署名議員の指名、会期の決定、続いて、人吉球磨広域行政組合議会ならびに人吉下球磨消防組合議会の報告、陳情書を採択、次に報告第1号として、平成23年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について柳

平成24年第4回（9月）定例会は、9月10日から14日までの5日間の会期で開かれました。提案された議案は、平成23年度財政健全化判断比率及び資金不足比率についての報告、平成23年度球磨村一般会計並びに特別会計決算の認定、条例の一部改正、規約の一部変更、平成24年度球磨村一般会計・特別会計補正予算などが審議されました。一般質問には6名の議員が登壇、行政課題並びに施策などを村執行部にたどしました。

一般会計 歳入

平成23年度決算

単位：千円

自主財源		依存財源	
村 税	234,290	地方譲与税	40,234
分担金及び負担金	18,363	地方消費税交付金	32,180
使用料及び手数料	24,209	自動車取得税交付金	5,816
財産収入	37,833	地方特例交付金他	10,723
寄 付 金	800	地方交付税	1,863,372
繰 入 金	3,446	国庫支出金	278,033
繰 越 金	86,920	県支出金	248,826
諸 収 入	72,035	村 債	349,257
合 計		3,306,337	

歳出

単位：千円

議 会 費	76,297	土 木 費	266,652
総 務 費	783,237	消 防 費	133,967
民 生 費	778,060	教 育 費	272,126
衛 生 費	244,570	災害復旧費	45,955
農林水産業費	243,095	公 債 費	347,319
商 工 費	17,644	予 備 費	2,930
合 計		3,211,852	

詰村長より報告がありました。財政健全化判断比率及び資金不足比率は、財政健全化法により、地方公共団体の財政状況を判断するために設けられたもので、市町村に同比率の算定公表が義務付けられております。公表には監査委員の意見を付けて報告するもので、いずれの数値も良好と報告

告されました。

平成23年度球磨村一般会計及び特別会計決算認定を上程後、豊永征介代表監査委員より、平成23年度球磨村一般会計・特別会計歳入歳出決算審査結果等の報告がありました。続いて、球磨村産業振興対策事業補助金交付条例の一部を改正する条例の制定、人

吉球磨広域行政組合規約の一部変更並びに平成24年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算を上程、午後からは、田代議員、愛甲議員が一般質問に登壇しました。

12日は一般質問に高澤議員、嶽本議員、舟戸議員、多武議員が登壇し、行政課題や施策などを村執行部に質しました。

14日は、平成23年度球磨村一般会計・特別会計決算を慎重審議し、いずれも認定しました。

最終日の14日には、球磨村産業振興条例の一部の改正、人吉球磨広域行政組合規約一部変更、平成24年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算を審議後可決した後、6月議会において議会運営委員会に付託し、同委員会において継続審査していた住宅リフォーム助成制度実施請願書の調査結果を愛甲議会運営委員長が報告、その後審議した結果、採択しました。

陳情書については採択後、追加議案として、意見書を衆、参議院議長、内国総理大臣他へ提出することに決定しました。

報告

○報告第3号

・平成23年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について

財政健全化法に基づき、球磨村監査委員の意見をつけて報告。

決定認定

○認定第1号

・平成23年度球磨村一般会計決算の認定

○認定第2号

・平成23年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定

○認定第3号

・平成23年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定

○認定第4号

・平成23年度球磨村介護保険特別会計決算の認定

○認定第5号

・平成23年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定

いずれも審議の結果、原案のとおり認定されました。

条例・規約

○議案第23号

・球磨村産業振興対策事業補助金交付条例の一部を改正する条例

農林業構造の改善と経営の合理化を図るため産業振興事業に要する経費の一部を補助するもので、6次産業化に取り組む団体に対して、加工等機械、施設整備について、新規購入・更新時に補助金を定率以内で交付する条例の制定です。

○議案第24号

・人吉球磨広域行政組合規約の一部変更

人吉球磨広域行政組合事務所移転による住所変更に伴う規約の一部変更です。

○議案第25号

・平成24年度球磨村一般会計補正予算(第3回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、5億76,802千円を追加し、歳入歳出予算の総額を33億86,417千円とするものです。

歳出の主なものは、総務費関係として、住宅用太陽光発

電システム設置補助金の追加として500千円、衛生費では、汚泥再生処理経費負担金5,567千円、農林水産業費では、一勝地温泉かわせみ経費節減等の施設整備費に4,889千円、林業費は、災害時の崩土除去等工事費9,572千円、林道一里山線舗装工事費18,000千円、土木費では、道路橋梁費に32,209千円他、河川費に、豪雨災害土砂除去工事費として2,000千円、単

県急傾斜地崩壊対策自供負担金4,000千円、消防費では、小河川改修・設置費として2,000千円、災害復旧費では、農業用施設災害復旧費測量設計委託料1,600千円、工事請負費7,813千円、小規模災害補助金2,834千円、林業用施設災害復旧費測量設計委託料3,131千円、工事請負費76,398千円、公共土木災害復旧費測量設計委託料13,707千円、工事請負費3億80,540千円などを計上、

なお、補正予算における災害復旧費全体の合計は、4億86,621千円を計上しています。歳入では、国庫支出金とし

て、公共土木施設災害復旧費負担金2億53,820千円、県支出金として、農林水産業施設災害復旧費補助金54,137千円のほか、一般財源に平成23年度繰越金他普通交付税を追加、歳入総額5億76,802千円を計上しました。

○議案第26号

・平成24年度球磨村介護保険特別会計補正予算(第2回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、1,710千円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億39,337千円とするものです。

○議案第27号

・平成24年度球磨村簡易水道特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、99千円を追加し、歳入歳出予算の総額を57,099千円となりました。

その他

○閉会中の継続調査報告

6月定例議会で議会運営委員会に付託された住宅リフォーム助成制度実施の請願の調査

結果を報告後、審議を行い採択しました。

○陳情書

全国森林環境税創設促進議員連盟から提出の「地球温暖化対策に関する地方財源を確保・充実する仕組みの構築を求める意見書の採択について」は採択後、追加議案として、意見書を衆、参議院議長、内閣総理大臣他へ提出することに決定しました。

○平成23年度普通会計財政健全化審査意見

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見をつけて報告するものです。

1、実質赤字比率

2、連結実質赤字比率

3、実質公債費比率

4、将来負担比率

いずれも早期健全化基準を下回っており、良好と認められます。

○平成23年度簡易水道事業会計経営健全化意見

1、資金不足比率

経営健全化基準と比較して、良好な状態にあると認められます。

九月定例 一般質問

「かわせみ」の赤字 を改善する方策は

長
従業員一丸となつて営
業活動に取り組む

田代 利一 議員

- 一、7月12日の大雨災害について
- 二、通学路について
- 三、「かわせみ」について
- 四、川辺川建設促進協議会について

田代議員

7月12日の大雨では、神瀬観測所で117mmと、これまでにない時間雨量が観測された。この大雨により住宅や水田などに土砂が流入し、大きな被害をもたらした。また、道路決壊やのり面の崩壊により、交通体系にも大きな支障がでた。そこで、この大雨による災害復旧の状況を伺う。

柳詰村長

今回の災害では、県が管理する国道、県道、河川や、村が管理

する村道、林道のほか農業施設まで含め298ヶ所で被災した。これらの復旧については、村道15ヶ所、河川14ヶ所、林道9ヶ所、農道2ヶ所の計40ヶ所を災害復旧事業で申請し復旧することになっている。その他、崩土除去などの応急工事に村道で3220万円、林道が977万円を見込んでいる。また、これ以外の災害についても、村単

独での復旧により対応する予定で、村民の方の安全を図ることとしている。

田代議員

今回の災害では、村道渡・大槻線がいちばんひどい状況だ。優先的に早く通行できるようにならないのか。

川口建設課長

被害の程度が大きく、通行止めの箇所が2ヶ所ある。今後、災害査定を受け、できるだけ早く対応したい。

田代議員

次に、通学路には歩道の未整備箇所が多く、児童・生徒は危険と隣り合わせで通学しているのが現状だ。そこで、通学路の整備を促進し、安全に通学できる環境づくりが必要と考える。

柳詰村長

通学路は、国道や県道を利用しているところも多いため、危険箇所解消に向け、今後とも県に要望していく。

田代議員

次に、「かわせみ」も、平成8年にオープンして16年が経過した。ここ数年は、経営的にも大変厳しい現状だ。今後の経営は、社長である村長の手腕にかかる部分が大きいと考える。そこで、今年の4月から8月までの収支は、どのようになっているか。また、経営を改善するための方策を聞きたい。

柳詰村長

赤字を減少させるよう、宿泊プランや食事メニューに工夫を凝らしてきた。しかし、好転しないのが現状だ。おもてなしの面では、従業員に対し、お客様から厳しい意見をいただいているので、研修会の参加やミーティングを行い、改善を図っている。また、経費節減策としてLED照明の取り付けを予定している。今後、従業員一丸となつて営業活動に取り組む。

永椎産業振興課長

8月までの収支が、まだできていない。4月から7月まで、612万円の赤字となっている。

田代議員

東京かわせみ会に出席されているようだが、「かわせみ会」についてどう思っているか。

柳詰村長

東京かわせみ会に出席して、これまで参加していなかった若

いメンバーが出席し参加者も増えてきた。「ふるさと基金」に多額のお金を送金した会員もあり、ふるさとを応援したいという気持ちのあらわれだ。次は、「東海かわせみ会」にいく予定であり、そこでも本村に対し応援してもらうようお願いするつもりだ。

田代議員

最後に、川辺川ダム建設促進協議会の会長に就任した理由を伺いたい。

柳詰村長

流域12市町村で構成する協議会の総会が7月5日に行われた。前村長の後を引き継ぐ形で村長に就任した私が残任期間の1年間ということで会長を引き受けた。



オープン16年目を迎えた「かわせみ」

**災害が発生した場合は
技術面、金銭面と非常
に厳しくなっているが**

**長 村の特例事項を活用
し、補助金交付を検討
している**

愛甲 泰治 議員

一、安心安全な生活環境の維持に
ついて

愛甲議員

＝現在まで球磨川を中心と

した災害対策であったが、近年は、
気象条件の変化が経験したこともない
ような集中豪雨で、山の崩壊にも近い
ような土石流が発生している。今後は
河川対策、急傾斜地対策、あるいは治
山、砂防と多方面にわたっての災害対
策が必要だと思うが。

柳詰村長

＝今回の災害では、川内

川、中園川、小川川河川の道路や農地
が、かつてないほどの被害を受けた。
人的被害がなかったことは救いであっ
た。対策としては、球磨川流域での河
川の氾濫、被害を少なくするための改
修工事、渡地区では内水対策につい
て、国、県に要望活動が続けたい。ま
た、山地災害に対応するため、砂防、

急傾斜事業、治山事業について、未整
備地区の整備に取り組みたい。

愛甲議員

＝砂防ダムの機能は大変大

きいと思うが、村内での設置箇所は。
また、この間つくられた砂防ダムが一
回の土石流で満杯になっているが、土
石流の流量を調整するとか、ダムが山
の崩壊を食い止める機能を果たして
いるのか、基本的なマニュアルはあ
るのか。

川口建設課長

＝村内に設置してある

砂防堰堤は、昭和28年ごろから設置
され現在40基になる。砂防ダムは上流
域の土砂をためるという役割と河川周
辺の土砂が削りとられないことが考え
られ、下流域の住宅を守ることが一番
大切である。ダムの構造には、砂防ダ
ム、治山ダムも機能的には変わらない
が、治山ダムは大きな流域の農地、住
宅を保護する目的となっている。ダム
が満杯になっている場合は、県の方へ
土砂の除去を要望していきたい。

愛甲議員

＝砂防ダムは、常に見回り

をして機能を果たせるような対策、
体制をとり、管理についても、村が先
頭に立って、県に要望して事前の災害
防止をお願いしたい。次に生活に必要
な飲料水の問題だが、地域によっては

小規模給水施設に被害があったようだ
が、被害状況と対応は。

柳詰健康衛生課長

＝今回の被害は、

境目地区を始め13施設が被害を受け
た、被害内容は、配水管被害、落雷被
害、濁り水の混入などが主で、地域、
役場、業者で災害に応じた早急な対策
を行い、工事も終わっている。

愛甲議員

＝今回は、早急に回復がで

きたようだが、小規模給水は地域の
管理と自己責任となっており、災害が
発生した場合は人の力、技術面、金銭
面と非常に厳しくなってきた
は。村としての今後の考え

柳詰村長

＝高齢化に伴い維

持管理が困難になりつつあ
る。対策として、小規模水道
施設数は39地区あり村人口の
3割に当たる。水道施設の維
持費は、施設の大きさに比例
すると思われ、また、補助金
も人口や戸数に関係なく工事
費により補助率を定めてい
る。戸数の少ない地区ほど負
担金が大きくなり、維持管理
が厳しいことになる。

今後の維持管理体制につい



神瀬地区で発生した土石流災害

ては、村の補助金制度の特例事項を活
用し、一定の受益者負担額を上回った
分については、補助金の交付を検討し
ている。

柳詰健康衛生課長

＝今、検討してい

ることは、今後の維持費を考えると、
月に数回の見回りをしてくれる業者と
の契約をしていく必要がある。また一
軒当たりの負担金額も全部統一される
ように検討している。

(質問時間40分)

若者一人一人と向き合い対話を

長 集會の場をつくり村政に反映させたい

高澤 康成議員

- 一、大規模災害における危機管理
- 二、耕作地被害の今後の対応
- 三、休耕田・放棄地対策における現状と課題
- 四、若者との対話

高澤議員

7月12日の大雨による大規模災害時、村長は出張されていたと聞いているが、代理責任者として総合的に情報収集、伝達など迅速にできたか何う。

川口副村長

人的被害もなく概ねスムーズに行えたと思っている。しかし、災害発生時各支部に職員配置する中、立往生した事は今後の検討するべき点がある。

高澤議員

球磨村地域防災計画は県との取り決めであり、球磨村内においての情報収集・伝達・指示は記載されていない。また、各家庭に配布している防災マップは、危険箇所など住民の方も理解されていない。この災害を機に担当職員が危険箇所

を把握し集會等で説明する考えはあるのか。

柳詰村長

大事なことであると考ええる。現在は、文書配布が主なことであり、今考えている事は消防団・消防署・自衛隊を退職された方に技術やアイデアを、避難訓練・誘導災害救助方法等できる組織を立ち上げたいと思っている。

高澤議員

数ヶ所がヘリポートの指定を受け、離着陸するようになっていいる。消防組合の広域化の話が進んでいるが、球磨村は地理的問題で恩恵を受けない地区がある。今回の災害で、道路の寸断で孤立地域になった地域に、急患が発生した場合対応はできるのか。その為にはヘリポート建設が必要と考えるが。

部総務企画課長

今回、ヘリポートについて調査をして頂く事になっている。調査終了後報告させて頂く。

高澤議員

次に、放棄地に対する対策について、場所によっては、土砂流入によって復旧ができず放棄地となってしまった田畑も過去にはたくさんあると思う。今回小規模対策補助の内容について説明を。

川口建設課長

農地及び施設の小規模災害復旧事業は、新たに自分で

機械をリースした場合、リース代を全額補助、棚田等緊急に水を確保する為のパイプの資材について全額補助を考えている。

高澤議員

山村振興対策とは、国土の保全・自然環境維持・農用地における水資源の確保・森林保全・被害に対する防除等、利用資源の開発が目的となっている。現在、この山村振興対策費1900万円程度予算計上し、内1400万円程度が旧第二小施設関連に使われている。山村振興法の目的を考えると休耕田・放棄地対策に充てる事も可能ではないか。

永椎産業振興課長

小規模災害分は、今後の補助を活用し農地再生をしていきたいと思っている。戸別の農家の保護や経営改善の手伝い等、補助をやっている事であり、今後も継続し予算の要求はさせて頂きたい。

高澤議員

若者の対話について何う。公約の中に若い世代が誇りを持つ村づくりを推進したい考えを持ってもらえる。若い世代と真剣に考えていくと言われているが、いろんな飲み会に参加をし会話をする事は雑談でしかなく、対話というものは、本当に一人一人と向き合い意見交換をし、どう反映させていくかが

大事だと思う。この公約を達成すべく今後の取り組みを具体的に何う。

柳詰村長

何としても若い人材を残す事が一番大切。人材が残れば活性化するはず。就任以来できる限りの事をやっているが、言われるとおり若い世代との集會の場をつくり意見を聞かせて頂き村政に反映させていきたい。

部総務課長

まずは、青年団や各分団等の会合に設定をしたいと考えているのでよろしく願いたい。

(質問時間60分)



水田に流入した土石流

渡地区の治水対策は

長 慢性的な内水被害を軽減したい
村

嶽本 孝司 議員

- 一、渡地区の治水対策について
- 二、渡地区の道路の安全性について
- 三、県道人吉水俣線の進捗状況について
- 四、外灯について

嶽本議員

〓 渡地区の治水対策については、定例会があるごとに一般質問がなされ、地区住民が安全安心を強く希望されている。治水対策について村長の考えを聞きたい。

柳詰村長

〓 今後は、慢性的な内水被害を軽減していくため、国土交通省の移動ポンプ車による排水作業はもとより、河川や排水路の土砂除去や内水対策について整備を進めていく必要がある、地域の方々のご協力をお願いして要望活動を続けていきたい。

嶽本議員

〓 茶屋地区には、移動ポンプ車のポンプ設定場所が、コンクリート造りで確保されているが、峯川の終末にはないので、整備を考えてほしい。また、県が進めているダ

ムによらない治水対策として、インターネットで検索すると、「球磨川中流域の国道、県道の冠水対策については、道路のかさ上げ、隣接するJR等の高さを考慮した上で個別に設定します」とあります。治水対策が迅速に進むと思うが。

柳詰村長

〓 渡地区の浸水しないところのシミュレーションを県に提示してもらい、ダムによらない治水を検討する幹事会に出席し要望していきたい。

嶽本議員

〓 峯川の治水対策について、渡保育園から国道へ通じる村道の下に峯川からの暗渠が入れてある。下流はじょうごの形の水路であり、豪雨の時、再三水路が決壊し、土石流が水田に入るので、樋門まで水路をコンクリートで整備できないか。

川口建設課長

〓 今年度中に土砂を除去し、河川改修を地元と協議しながら進めていく。

嶽本議員

〓 渡駅付近の道路状況の安全性について伺いたい。①小川川に掛かっている歩道のない国道の橋を渡って郵便局には月600名、JAには月300名、球磨川下りには年300名の方が往来されており非常に危険を感じる。②村道大槻線の

入口、渡駅前の村道については、系原採石場、廃棄物の中間処理場、災害復旧等々に大型ダンプが往来し、道路は狭くほこりは立ち、がたがたの路面の中、地元住民は悲鳴を上げておられる。また、入口の囲いは10年前から単管で囲ったままである。

川口建設課長

〓 当箇所は、日常的にダンプが多く3ヶ月に1回の割合で協議会を開いている。道路事情が悪いところは、維持工事を考えたい。

嶽本議員

〓 県道人吉水俣線の進捗状況について伺いたい。

柳詰村長

〓 人吉市大柿から球磨村八久保間の未開通については、人吉市と協議しながら速やかに進めていく。

嶽本議員

〓 県道人吉水俣線の一勝地から黒白間の改良の要望は毎年行っているが進んでいないので強固にお願いしたい。次に外灯の設置基準について伺いたい。

部総務企画課長

〓 公共施設、通学路の危険な箇所198ヶ所設置し、台帳で管理している。地区からの要望は、2分の1の補助で設置している。



村道 渡大槻線（渡駅前付近）

嶽本議員

〓 公共施設である一王子団地の住民からは、住宅内の少なくとも九電柱にはつけてほしいとの声、安全で安心な村づくりからして、調査し対応してもらいたい。また、村管理や地区管理の外灯については、雑木がじゃまになり外灯の下が暗い。下に光ケーブルも通っているのに誤って切断すると大きなリスクがともなう。村で管理をお願いしたい。

（質問時間60分）

避難場所の施設の バリアフリー化を

村 長 前向きに検討する

舟戸 治生 議員

一、災害、防災について
二、生活環境について

舟戸議員

〓 7月12日の大雨により土砂災害が多発した。幸い人的災害はなかったが、村内でも災害に結びつく土石流、崖崩れ、地滑りなどの前兆現象があったと思うが確認はできているのか。また、土砂災害危険区域に指定されると、情報の収集、伝達方法を地域防災計画で規定しハザードマップを作成配布すべきと思うが。

部総務企画課長

〓 災害当日夜半に防災担当者で情報収集に当たっていたが、夜中は雨雲の流れが非常に濃いのが来ているのを確認し夜明けを迎えた。前兆はわからなかったが国道219号線には土石流が流れ始めていた。また、小川川も濁流がひどいとの情報により早急の対応が出来たと思う。避難場所の確認は、危険区域内の公民館もあり、地域の方

意見をいただき、ハザードマップや避難場所を見直し検討する。

舟戸議員

〓 村独自のハザードマップを作成してほしい。また、多目的集会施設など避難場所として適切な施設、第一避難所については看板の設置ができないか。また、建物の耐震化やスロープの設置、バリアフリー化に対する補助金を受けることができないか。

柳詰村長

〓 公民館など調査をして検討する。また、自主防災組織の充実強化のため、球磨村防災協力隊制度を発足したい。内容は自衛官、消防団OBの方に会員登録をお願いし、防災訓練の実施、応急手当、初期消火の指導及び大規模災害の活動支援を立ち上げることが出来ればと思う。また、バリアフリーは公民館でサロン事業を行っているところもあり、前向きに検討する。

舟戸議員

〓 次に、急傾斜地事業、治山事業に対して採択基準に適合しないため補助事業が利用できず、結果的に災害に対応できないのではないか。

川口建設課長

〓 国の補助でできるのは10戸以上であり、それ未満は県の単独事業を進めている。急傾斜地

事業や治山事業にも該当しない地区は、村の50パーセント補助で対応する。

舟戸議員

〓 次に、水道事業について、豪雨で小規模給水施設の被災があったが、今後は、水源の確保が不可欠であり、ボーリングをして水源の確保をするなどの積極性が必要と思うが。

柳詰健康衛生課長

〓 濁らない水は、湧水か地下水であり、山水とか谷水は大雨が降ったら濁るので、水源の確保は大事と思う。現在は、井戸水が4地区、湧水が8地区で、26地区は谷水であるが、一つにするには地理的な水源の確保と予算もかかるので、地域と話をしながら進めていく。

舟戸議員

〓 次に、排水対策として山口地区に定住促進事業で宅地造成がなされ、排水施設が設置されているが、機能及び維持管理は。

柳詰村長

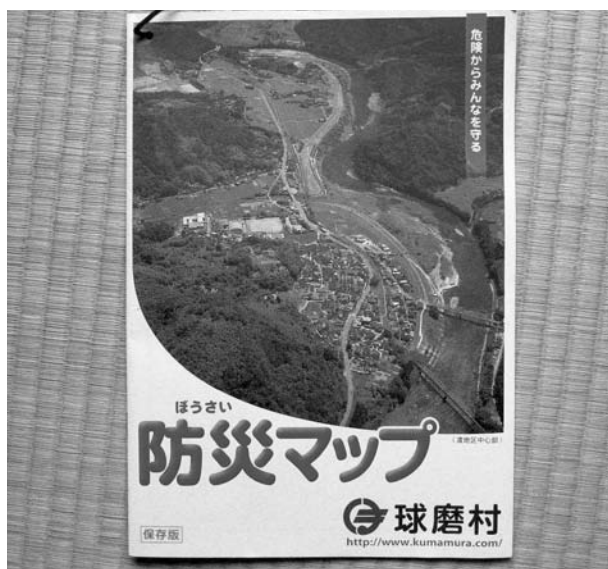
〓 一王子団地の排水整備は、都市計画法で流水流出量の増大を防止することとして、宅地開発面積が0・5haを超えると調節池を設置す

ることになっている。なお、調整池の洪水調節機能は、一定以上の降雨のごく限られた期間において機能を発揮するもので、他の期間については、草刈りなどの維持作業が必要になる。

川口建設課長

〓 排水池で大切なことは、新しく造成された土地の水が、河川に流した場合に氾濫しないかが問題になる。一度雨が降り始めてから降り終わるまでの時間内に、一番降る時間をずらして河川に流し、下流川の農地に水害とか災害が起きないようにしている。

(質問時間60分)



球磨村版 防災マップ

買い物弱者に対する 支援策は

長 高齢者の世帯を対象に
村 検討しているところだ

多武 義治 議員

- 一、買い物弱者対策の考え
- 二、川辺川ダム建設促進協議会会長就任の真意
- 三、町村長海外研修の日程と参加した所感

多武 議員

「自動車など移動手段を持たない、高齢者を中心に日々の生活に困っているのが、生活に必要な品物をどのように取りそろえるのか、とりわけ毎日の食料品をどう買うのか、苦勞されている。これから、増加するであろう買い物弱者に対する支援策を、行政としても考えてみなければいけない時期にきている。近くの自治体では、買い物弱者に対する支援を始めたところもあるが、地理的条件が不利な球磨村こそが、早く対策を打ち出さないといいけない問題であると思うが。」

柳詰 村長

「現在、さまざまな理由

により外出が困難な、おおむね65歳以上のひとり暮らしや、高齢者のみの世帯などを対象に、買い物支援体制づくりを検討している。その方法として、村内の移動販売業者や商工会などと連携して、商品の発注、納入システム化を推進するか、利用可能になった光ケーブルを利用した買い物支援システムを進める方法を考えている。また、自分で料理を作ることが困難な高齢者を支援するため、配食サービスの検討もしているところだ。」

多武 議員

「方法として、村内の移動販売業者にお願いし、商店から離れた地区を一週間に2回程度回ってもらい、それに要した経費に補助するやり方が、いちばん現実的だと思うが。」

柳詰 村長

「そのことも含めて検討してみる。」

多武 議員

「次に、川辺川ダム建設促進協議会の総会が行われ、空席となっていた会長に柳詰村長が就任した。ただ、村長はダム建設に関して、反対の立場ではなかったかと認識している。それは、平成20年9月に熊本県知事がダム計画を白紙撤回

し、ダムによらない治水対策を追求すべきだと建設反対を表明された。当時、議員だった村長も、このダムの白紙撤回を絶賛するような内容の発言を定例会でされている。その後もダムに否定的な意見だった。これまで、ダム建設反対の立場だった村長が、なぜ会長を引き受けたのか、その真意を伺いたい。」

柳詰 村長

「協議会の総会が7月5日に行われ、前柳詰村長の後を引き継ぐ形で村長に就任した私が、前柳詰会長の残任期間の1年間ということとで引き受けた。当然、村長選に立候補するときは、会長に選任されるであろうと思っていた。今年の事業計画も、ダム建設促進から関連事業に重点をおいた予算確保を国に求めていくことになっている。また、ダムによらない治水を検討する場が設けられ、その話し合いが進められており、現在の川辺川ダムをめぐる状況は理解している。」

多武 議員

「それではダム建設について、心の奥では賛成なのか、反対なのか。」

柳詰 村長

「今は、ダムによらない治水を検討する場に重点が置かれて

いる。微妙な時期であり、私はダムによらない治水を検討する場を見守っていきたい。」

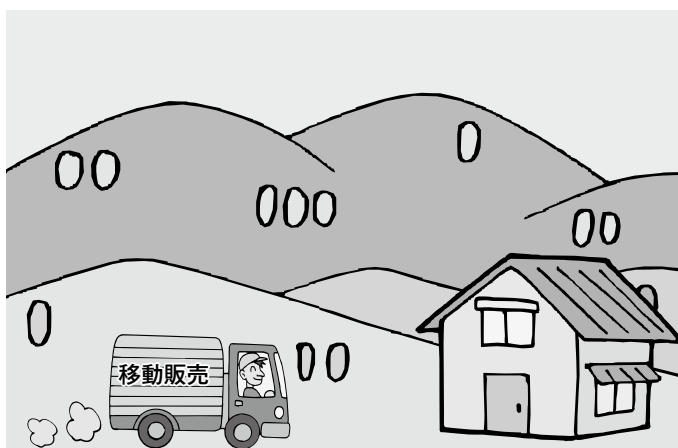
多武 議員

「次に、県の町村長による海外研修が実施されている。参加した所感は。」

柳詰 村長

「視察した台湾大学の農業施設は、日本のほうがすんでいる印象だ。その他にも、町村長との会話の中で、自信あふれる地方自治のあり方を聞くことができ、参加してよかったと思っている。」

(質問時間50分)



沢見の火の元神社

沢見地区の水源の上、古木立の中に火の元の神が祭られています。御神体は石造の座像です。祭神については、平家の落人達が沢見にのがれて来て沢見地区を切り開き、その中の一番偉かった人を祭ったとも、また、平家の落人がここまでのがれて来て、源氏の追手に殺され、その落人を祭ったとも伝えられています。



昔は、御神体は刀であったが薩摩の沢見（そうみ）の者が持ち去ったとの伝承もあり、別名「戦争様」ともいわれて戦時中は出征兵士や家族の者が武運長久を祈って参拝されにぎわっていました。

高沢康成（球磨村誌より抜粋）

編集後記

黄金色に染まった稲穂、自然の豊かさに感謝しつつ収穫作業に奮闘する毎日。そんな中、村民体育祭が開催され、親睦と融和が図れた事は、日頃仕事に追われる日々を少し忘れさせてくれました。

いつもはあちらこちらが痛いといっているものの競技となると、我を忘れ一生懸命に走ったりする姿は、安心とたくましさを感じたところです。

日頃から私の健康に留意し健康を維持する為、毎日何か少しずつでも行うことが大切だと思います。私も、食欲の秋とはいえ腹八分目を肝に銘じ、健康維持に努めようと箸を片手に考えています。

それぞれが努力する事は医療費削減にも繋がりが安定した村運営にも寄与する事ができる。さあ一緒に頑張りましょう。（高澤）

広報委員長	多武 義治
広報副委員長	高澤 康成
広報委員	毎床 文博
広報委員	嶽本 孝司